

CVP ゲートウェイ TCL ファイルの外観

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[入力ゲートウェイの TCL ファイル](#)

[VXML ゲートウェイの TCL ファイル](#)

[入力ゲートウェイのサービス設定](#)

[VXML ゲートウェイのサービス設定](#)

[TCL ファイル 詳細](#)

[Bootstrap.tcl](#)

[Cvpperror.tcl](#)

[Ringtone.tcl](#)

[Cvpselfservice.tcl](#)

[Handoff.tcl](#)

[Survivability.tcl](#)

[礼儀コールバック TCL ファイル](#)

[Cvp_ccb_vxml.tcl](#)

[参考資料](#)

概要

この資料は Cisco カスタマー 音声ポータル (CVP) 配備で入力および音声 拡張 マークアップ言語 (VXML) ゲートウェイで使用される異なる Tool Command Language (TCL) ファイルを記述したものです。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- CVP
- VXML ゲートウェイ

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

入力ゲートウェイの TCL ファイル

これらは入カゲートウェイで使用される tcl ファイルです

- survivability.tcl
- cvperror.tcl
- Handoff.tcl

VXML ゲートウェイの TCL ファイル

これらは VXML ゲートウェイで使用される tcl ファイルです

- bootstrap.tcl
- bootstrap.vxml
- recovery.vxml
- handoff.tcl
- ringtone.tcl
- CVPServiceBootstrap.vxml (スタンドアロンのためにただ)

入カゲートウェイのサービス設定

```
application
```

```
service survivability flash:survivability.tcl
```

```
service cvperror flash:cvperror.tcl
```

VXML ゲートウェイのサービス設定

```
application
```

```
service new-call flash:bootstrap.vxml
```

```
service ringtone flash:ringtone.tcl
```

```
service bootstrap flash:bootstrap.tcl
```

```
service handoff flash:handoff.tcl
```

```
service CVPService flash:CVPServiceBootstrap.vxml
```

TCL ファイル 詳細

Bootstrap.tcl

- **広範囲の CVP および Voice Response Unit (VRU)** で使用される-コールフロー モデルだけ
- この TCL はセッション Initiation プロトコル (SIP) (または VRU だけの場合には Time Division Multiplexed (TDM)) によって着信コールを受信し、bootstrap.vxml にハンドオフをします
- bootstrap.vxml は CVP Interactive Voice Response (IVR) サービスに新しいコール要求を-VXML ゲートウェイと CVP IVR サービスの間で VXML コミュニケーションのシーケンスを

開始する VRU レグ 送信 します

- CVP コール サーバプロセスは Intelligent Contact Management (ICM) に Hypertext Transfer Protocol (HTTP) 要求 呼ルーティング手順を受け取るために lcr connecting_GeoTel_ICR 接続 エンジニアリング に関する 資料 (GED) -125 要求を送信 し、
- SIP 呼び出し、スクリプト抽出コールGUID、コール サーバ Uniform Resource Locator (URL) および Dialed Number Identification Service (DNIS) 値に関しては
- コール サーバは SIP アプリケーション情報 ヘッダの cvpserverhost パラメーター ヒントを、これらのパラメータ ブートストラップ サービスの一部として定義される必要はありません 上書き します
- スクリプトは着信 一般的な 透過性 記述子 (GTD) から ICM にユーザ指定されたフィールドを 得ます
- スクリプトはまた DNIS を離れて sigdigits を除去 します

Cvpperror.tcl

- 広範囲の CVP およびコール ディレクターで使用されて模倣 します
- CVP コール サーバ SIP サブシステムはコールのエラーを検出するとき、VXML ゲートウェイに SIP コールを 発信 します
- VXML ゲートウェイはエラー プロンプトをするために cvpperror.tcl を実行 します
- 主に 2 つのエラー プロンプトは されます Criticalerror.wav -このプロンプトは入力 レグが異常に切られるとき されます。プロンプトはゲートウェイ フラッシュするで保存 されます。メス型 音声は「残念であることを示 します。現在 システム 問題に直面して、コールを処理することができません。しばらくしてから、もう一度試してください」 Error.wav -このプロンプトはコールが IVR に転送され、ゲートウェイが VXML アプリケーションの実行中にエラーに出会うとき されます。それは Tomcat Web フォルダにあり、パスはダウンロードされた VXML 資料で規定 されます。オス型 音声は問題を、後で呼出す」経験していることを「残念であることを示 します

注: Cvpperror.tcl はサバイバビリティが使用されないときだけ設定される必要があります。サバイバビリティ スクリプトは同じ機能を します。この tcl はサバイバビリティが使用されないか、またはそれが Internet Protocol (IP) コールだけなら場合その時だけ呼び出 されます。

Ringtone.tcl

- 広範囲の CVP およびコール ディレクターで使用されて模倣 します
- エージェントが予約済みだった後、CVP は VXML ゲートウェイに ringtone プロンプトをするために SIP コールを 発信 します。このステップは SIP プロトコルが中間コール ringtone 生成を可能にしないので必要 です

Cvpselfservice.tcl

- CVP スタンドアロン配備で使用 される
- このスクリプトはコールに CVPSelfServiceBootstrap.vxml を離れて CVP スタンドアロン モデルの着信コール (着信コールは SIP/TDM である場合もあります) およびハンドの通知を受 信 します
- CVPSelfServiceBootstrap.vxml は CVP VXML サーバに HTTP 要求を VXML ダイアログを開

始する送信 します

Handoff.tcl

- CVP 広範囲のコールフロー モデルで使用される
- Call エラーが CVP VRU レグで検出する場合、着信コールは原因コード 38 と切断されます
- サバイバビリティ スクリプトは handoff.tcl スクリプトによって戻るエラー メッセージ テキスト「異常な接続解除」を探し、リカバリ操作を始めます
- VXML ゲートウェイが IVR サブシステムに達することができない場合ゲートウェイ フラッシュ ユ メモリの Bootstrap.vxml および Recovery.vxml はこの状況から回復 するように試みます
- bootstrap.vxml の RECOVERY_VXML 変数はゲートウェイが IVR サブシステムに接触できない場合ロードするために VXML 資料の定型 資源 識別子 (URI) を規定 します。これが規定 されない場合、「点滅させて下さい: Recovery.vxml は」ハンドオフをデフォルトで呼出 します

Survivability.tcl

- 広範囲の CVP コール ディレクターおよびスタンドアロン モデルで使用される
- サバイバビリティ TCL スクリプトモニタすべての呼び出しのための SIP 接続ゲートウェイを 通したその入力
- シグナリング失敗が発生するとき、TCL スクリプトはコールを管理し、設定可能な宛先にそ れをリダイレクトします
- スクリプトはコールが等 WAN 停止の間に、CVP コール サーバ 停止存続するように、しま す
- サバイバビリティ スクリプトのこの行はディスプレイにサバイバビリティが使用されること を CVP に告げるために - CVP を追加 します
アペンド `tmpDisplay "--CVP_10_0_1_0_0_0_490"`
- --リモート パーティ ID ヘッダの表示名への CVP タグはゲートウェイに戻って使用中および ring-no-answer 応答を返すように CVP に指示 します。それはまたロケーションベース アク セスコントロール 機能を有効に します。

礼儀コールバック TCL ファイル

Cvp_ccb_vxml.tcl

- CVP 広範囲のモデルで使用される
- VXML ゲートウェイで入力ゲートウェイと VXML サーバの間でメッセージをあちこちに渡す ことを使用 します。
- VXML アプリケーションはメッセージを送信 したいと思うときこの tcl スクリプトを実行す る VXML ゲートウェイの `cvp_cc` を保守するためにハンドオフを します。tcl スクリプトはそ れから入力ゲートウェイによって最終的に受け取られ、処理される入ってくるコールレグの SIP INFO メッセージを送信 します。

参考資料

- [CVP コンフィギュレーション ガイド](#)